

2025年7月17日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【世界企業】有効特許件数ランキング トップ3はSAMSUNG、HUAWEI、キヤノン

弊社はこのほど、世界の企業を対象とした「世界企業 有効特許件数ランキング」を集計いたしました。本ランキングは、日本、米国、欧州、中国における2024年12月末時点での有効特許（権利継続中、審査中、および審査請求前を含む）を対象としています。

有効特許件数ランキングでは、1位 **SAMSUNG ELECTRONICS(韓)**、2位 **HUAWEI TECHNOLOGIES (中)**、3位 **キヤノン**となりました（表1）。

【表1：有効特許件数トップ10】

順位	2019年 順位	企業名	有効特許件数
1	1	SAMSUNG ELECTRONICS (韓)	150,436
2	5	HUAWEI TECHNOLOGIES (中)	147,663
3	2	キヤノン	98,049
4	3	パナソニックホールディングス	91,589
5	4	トヨタ自動車	90,297
6	8	QUALCOMM (米)	86,213
7	10	STATE GRID (中)	72,369
8	6	三菱電機	70,274
9	26	BOE TECHNOLOGY GROUP (中)	59,907
10	7	IBM (米)	58,012

トップ10にランクインした企業のうち、日本企業が4社、中国企業が3社、韓国企業と米国企業がそれぞれ1社ずつとなっており、アジア勢が多数を占めています。特に日本企業は最も多く、依然として高い技術保有力を誇っています。中国企業の台頭が顕著で、出願・登録活動の活発さが結果に反映されています。

業種別に見ると、エレクトロニクス、通信、モビリティ、エネルギーインフラといった分野が上位を占めています。

企業別にみると、**SAMSUNG ELECTRONICS** は2019年と同様に1位を維持しており、世界最大規模の特許ポートフォリオを有しています。

HUAWEI TECHNOLOGIES は 2019 年の 5 位から 2 位に順位を上げており、特に中国および欧州での出願活動が活発です。

また、ディスプレイ分野で知られる **BOE TECHNOLOGY GROUP** は、2019 年の 26 位から 9 位へと大きく順位を上げ、急成長を遂げています。同社は中国国内のみならず、米国への出願も活発です。

キヤノン (3 位)、**パナソニックホールディングス** (4 位)、**トヨタ自動車** (5 位)、**三菱電機** (8 位) と、日本企業は順位こそわずかな変動にとどまるものの、引き続き世界トップレベルの特許資産を保有しており、技術面での存在感は依然として高い状況です。キヤノンはカメラやプリンターに加えて無線通信分野などの出願が多くみられ、パナソニックは電池や照明、無線通信分野において出願が活発です。

トップ 10 圏外にも注目企業が多数ランクインしています。電子機器・ディスプレイ分野で特許を急増させている韓国企業や、エネルギー・通信分野で存在感を高める中国企業、さらに AI やソフトウェア関連の技術強化を進める欧米の IT 大手などが、着実に上位に迫っています。半導体関連企業の動きも目立っており、技術競争の主戦場が広がりを見せていることがうかがえます。今後のランキング動向において、これらの企業がどこまで躍進するのか注目されます。

本分析の詳細については、『世界企業』有効特許件数ランキング：ランキングデータにてご覧いただけます。

【調査対象の特許群について】

日本、米国、欧州、中国における 2024 年 12 月末時点での有効特許が対象です。登録と、公開・公表・再公表が重複している場合は、登録を優先しています。企業等は権利者ベースで集計しています。

【販売データ】

- ・有効特許件数上位 100 ランキングデータ (2024 年末時点、2019 年時点の順位付き)
- ・有効特許件数上位 100 ランキングデータ (2019 年末時点)

価格：各 5 万円 (税別)

【納品形態】

ランキングデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品。

データ一式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合にはご相談ください。

*** 本件に関するお問い合わせ先 ****

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp